

県施設野菜共進会を開催 トマト・キュウリ 低温の影響も「優れた品質」

農産部が事務局を務める神奈川県施設野菜組合連合会は、県施設野菜共進会を開催した。3月1日～4月6日の期間で「立毛の部」、4月8日に「野菜の部」の審査を行い、各賞を決定した。結果は表の通り。

野菜の部にてトマトの審査を行った県農業技術センター普及指導部田村律子野菜課長は「低温が続いた中収量は落ちていると聞いていたが、大きさや色回り、揃いが良く品質が非常に高いものが多く出品されていた」と講評した。



生産者自慢の野菜の審査は県農業技術センターの職員や市場関係者によって行われた

〈立毛の部〉

特別賞	氏名	支部名
農林水産大臣賞	和田 浩明	藤沢
神奈川県知事賞	武藤 登美夫	平塚

〈野菜の部〉

特別賞	氏名	支部名
神奈川県知事賞（トマト）	山崎 泰男	平塚
神奈川県知事賞（キュウリ）	栗原 馨	横浜

JAあつぎにて「発酵そみファ」講習会 大人気商品のミソ 女性部で学ぶ

JAあつぎ相川地区女性部は4月12日、「発酵そみファ料理講習会」を開いた。

「発酵そみファ」とは株式会社全農ビジネスサポートが販売する塩分ゼロの大豆醗酵食品であり、同社が2020年度に創設した新規事業提案制度に端を発する商品である。山印醸造株式会社が伝統的な味噌の造り方に工夫を加え、国産大豆・国産米を使い、食塩を使用せずに、発酵・熟成させて作られた。販売先である本会ECサイト「JAタウン」では加工食品や調味料カテゴリのランキングで1位になることも多く、人気の商品である。

今回は同社から全農かながわに講習会の提案があり、JAあつぎで紹介したことをきっかけに実現した。

当日は同社の宮崎智幸事業開発推進部長、塩見真仁事業開発課長を講師に迎え、「発酵そみファ」の特長や、活用法をレクチャー。後半には商品を使い「そみファポテトサラダ」「コ

クウま！レンジで濃厚バターチキンカレー」2品のアレンジレシピに挑戦した。

部員からは「組み合わせ次第で料理の幅が広がる。腸内環境が気になる人におすすめしたい」「アレンジレシピは簡単に作ることができた。徐々にメンバーに会えたこともあり楽しい時間だった」と声が上がった。



わきあいあいと調理に取り組んだ女性部員

「みかん畑」パッケージリニューアル

キュートに生まれ変わる 新しい缶もよろしくね

生活課が販売する県産みかん100%ストレートジュース「みかん畑」が4月1日より新パッケージとなった。

以前のパッケージは100%ストレートジュースにしか使用が認められない輪切りのイラストを大きくあしらったもので2017年より使われていた。今回、より親しみやすく手に取りやすいデザインを目指し5年ぶりに変更となった。

生活課担当者は「5年間親しんでいただいたパッケージを変えることは非常に悩んだが、お子さま世代から親しんでいただけるようなデザインになったと感じる。今回の変更を通

して、お客様の日常により溶け込むような商品になれればいい」とコメントする。



県産みかんのイラストがあしらわれた新「みかん畑」

浜なし®使用唐揚げ 第13回からあげグランプリ®審査員特別賞に Aコープ東日本が開発 フルーティーな甘みが味付けのポイント

株式会社Aコープ東日本で3月から販売中の「横浜産ブランド梨『浜なし®』使用 国産鶏とろの旨塩唐揚げ」が「第13回からあげグランプリ®」スーパー総菜部門 審査員特別賞を受賞した。

本グランプリは唐揚げが好きな人「カラアゲニスト」の認定などで知られる日本唐揚協会が「日本一の唐揚げを決める」目的で毎年開催している。

株式会社Aコープ東日本では安全で新鮮な国産農畜産物を通じてお客さまと生産者を結ぶ懸け橋になることを経営理念の1つに掲げており、生鮮食品はもちろん、総菜での地産地消にも取り組んでいる。過去には「やまゆりポーク」や「湘南ゴールド」を使った商品も開発してきた。今回受賞した商品もその取り組みの中で生まれた。

JA横浜果樹部員が生産し、全農かながわが加工を手配した「浜なし®」のピューレはフルーティーな甘みを生かし、砂糖の代わりとして鶏肉の下味に使われている。脂身の少ない肩肉を使用し、大ぶりながらさっぱりとした味わいに仕上がった。「洋食屋さんの唐揚げ」をイメージした本商品は女性客を中心に好評だ。

総菜部門を担当する店舗事業本部商品部生鮮Ⅳ課渡辺賢吾課長は受賞に際し、「もっと上の賞を狙っていた分悔しさはあるが、本商品の提供を通してお客さまに喜んでもらうことは経営理念の達成にもつながる。今後も地産地消の取り組みは継続していきたい」とコメントした。



関東エリアのAコープ全店で販売中。100g246円（税込）

今月のPickup!

箱根山麓紅茶使用「ホイップと紅茶のシフォンケーキ」

- ・山崎製パン株式会社よりご当地商品として発売。
- ・同社では地域の特産品などを使用した商品や、地域のご当地名物をイメージした商品の開発に取り組んでいる。
- ・そこで神奈川県農協茶業センターが開発した和紅茶「箱根山麓紅茶」に着目。神奈川県における地産地消を通じた地域貢献を目指し、本商品が開発された。
- ・発売日：2022年4月1日（金）
- ・税込参考売価：140円
- ・県内量販店等で販売中

